

現場説明書追加事項

工事名 (都) 下中野平井線橋梁下部 (P10, A2, C2) 築造工事 (8-1)

工 種	種 別	説 明 事 項															
	技術者の適正配置	1. 請負代金額 4,500万円以上の工事については、主任技術者又は監理技術者は専任とする。ただし、当初契約時における「請負代金額」は「許容価格」と読み替えて適用する。 2. 専任となる期間は、工事着手日から工事検査日までとし、修補等の指示を受けた場合は修補完了日までとする。 なお、この期間における技術者の変更は基本的に認めない。ただし、病気・退職等やむを得ない特別な事情がある場合は、この限りではない。この場合、変更となる事由を書面にて本市に申し出、承認を得ること。															
	施工時間帯	1. 本工事の施工時間帯は昼間施工（8:00～17:00）で考えているが、関係機関との協議により、これにより難しい場合は監督員と協議すること。															
	建設副産物	本工事から発生する建設発生土については、原則、現場内で利用することとし、搬出する場合においては以下のとおり指定するものとするが、工事間利用調整の状況によっては、設計変更の対象とする。なお、現場において予定していた土質及び土量等に変更があった場合は、速やかに監督員と協議すること。 <table border="1"><thead><tr><th>種 別</th><th>搬出先住所</th><th>搬出先名称</th><th>片道運搬距離</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>第2種建設発生土</td><td>岡山市北区北長瀬本町7番12</td><td>新力(株)</td><td>L=7.1km</td><td></td></tr><tr><td>第3種建設発生土</td><td>岡山市北区大窪1016番13, 14, 15, 16の一部</td><td>森泉建設(株)</td><td>L=13.4km</td><td></td></tr></tbody></table>	種 別	搬出先住所	搬出先名称	片道運搬距離	備 考	第2種建設発生土	岡山市北区北長瀬本町7番12	新力(株)	L=7.1km		第3種建設発生土	岡山市北区大窪1016番13, 14, 15, 16の一部	森泉建設(株)	L=13.4km	
	種 別	搬出先住所	搬出先名称	片道運搬距離	備 考												
第2種建設発生土	岡山市北区北長瀬本町7番12	新力(株)	L=7.1km														
第3種建設発生土	岡山市北区大窪1016番13, 14, 15, 16の一部	森泉建設(株)	L=13.4km														
		1. 受入条件については、下記のとおりとする。 1) 受入時間帯は、平日の8:00～17:00を予定している。 2) 土砂は、異物が混入していない建設発生土とする。 2. 建設発生土の処理については、施工計画書に基づき適正に処理すること。施工計画書に記している処理方法と異なる処理を行った場合は、契約違反となるので注意すること。施工計画書と異なる処理方法を行う場合は、事前に監督員と協議を行うこと。															

工 種	種 別	説 明 事 項										
一般事項	建設副産物	<p>本工事から発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材）及び産業廃棄物は、下記の再資源化施設に搬入するものとし、その再資源化等費（処分費。なお、岡山県内で処理する場合には産業廃棄物処理税相当額、又は、産業廃棄物の処理に係る税の条例が施行されている他の県で処理する場合には各県の産業廃棄物の処理に係る税相当額を含む。）については、見積単価を採用している。なお、運搬に先だち受入条件等を確認し、監督員に報告するものとする。</p> <p>また、下記再資源化施設については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。但し、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りではない。</p> <p>特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法）</p> <table><tr><th>種 別</th><th>処理場所</th><th>処理施設名</th><th>片道運搬距離</th><th>備 考</th></tr><tr><td>コンクリート塊（無筋）</td><td>岡山市南区飽浦地内</td><td>（株）南備</td><td>L=9.7km</td><td></td></tr></table> <p>1. 受入条件については、下記のとおりとする。 1）受入時間帯は、平日の8:00～17:00を予定している。 2）ゴミ等を混入させないこと。</p> <p>2. 特定建設資材廃棄物の処理については、契約締結時に契約書別紙に記載した施設以外の施設に持ち込みを行う場合は、契約違反となるので注意すること。契約書別紙に記載した施設以外の施設に持ち込みを行う場合は、事前に監督員と協議を行うこと。</p>	種 別	処理場所	処理施設名	片道運搬距離	備 考	コンクリート塊（無筋）	岡山市南区飽浦地内	（株）南備	L=9.7km	
種 別	処理場所	処理施設名	片道運搬距離	備 考								
コンクリート塊（無筋）	岡山市南区飽浦地内	（株）南備	L=9.7km									

工 種	種 別	説 明 事 項
一般事項	変更後請負代金額の算出	<p>1. 請負代金額に変更があった場合の変更後請負代金額の算出は、次の式による。</p> $\text{変更後請負代金額} = (\text{変更後設計金額(税抜)} \times \frac{\text{当初請負代金額(税込)}}{\text{当初設計金額(税込)}}) \times (1 + \text{消費税率})$ <p>上記の算定式で、括弧内の計算の結果、10,000円未満の端数を生じたときは、これを切り捨てる。</p>
	交通規制	<p>本工事において、極力交通規制が伴わない工法又は、交通規制の期間が短縮される方法について検討し監督員に提出すること。</p>
	その他	<p>1. 工事の実施に当たっては、道路交通法第77条の規定に基づく所轄警察署長の許可を事前に受け一般交通に対する支障を最小限にとどめるものとする。</p> <p>2. 現道の交通処理については、万全を期するものとする。また、工事中一般交通等に支障を及ぼさないように安全確保に努めること。</p> <p>3. 公安委員会や地元との協議等に伴う要望事項については、監督員に報告すること。</p> <p>4. 工事期間中、沿道住民等の第三者により苦情、又は意見があった場合は丁寧に対応し直ちに監督員に報告するとともに適切な処置を講じなければならない。</p> <p>5. 工事中の一般交通開放区間の路面状況については、常時点検を行い特に注意を払い、万一凹凸等が生じた時は速やかに監督員に連絡し、対策を講じるものとする。</p> <p>6. 施工に際し、現道の路面を損傷あるいは汚損しないようにすること。尚、路面汚損防止対策が必要な場合は、監督員と協議すること。</p> <p>7. 現地の状況により既設構造物施設等の取壊し、復旧及び移設等の必要が生じた場合は、監督員と協議すること。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項
一般事項	その他	<p>8. 残土等の搬出に際し、公道等の路面汚濁防止に努め、舗装等の補修が必要となった場合は、監督員と協議すること。</p> <p>9. 本工事箇所は、とくに生活環境を保全する必要がある地域であるので施工に当たっては低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定されている建設機械を使用するものとする。</p> <p>10. 本工事は、アスベストの事前調査が必要な工事である。 元請負業者は、事前調査及び撤去工事を以下の通り実施すること。 ・事前調査及び撤去については、大気汚染防止法及び石綿障害予防規則により実施すること。 ・「建築物」の調査にあたっては、有資格者による調査を実施すること。 ・令和2年11月30日付け環境省通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行等について」にて示されている「建築物」及び「工作物」（報告の対象外工作物あり）の事前調査結果については、石綿含有建材の有無に関わらず、発注者へ書面で報告及び都道府県知事等へgBizID（法人・個人事業主向け認証システム）にて報告を行うこと。 ・工事着手前までに事前調査結果の掲示（様式A3以上看板を設置）すること。 ・除去等作業の結果は、発注者へ書面で報告しなければならない。</p> <p>11. 落札後、請負代金額（税込）が3億以上となる場合は、議会の議決が必要となる。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項
施工一般	一般事項	<p>1. 堤外区域においては、出水期（令和9年6月15日～令和9年10月15日）を避け施工計画すること。また、出水期中に施工する場合は監督員と協議すること。</p> <p>2. 工事期間中は、粉じん・埃対策として現場及び工事車両通行区間への散水を怠らないこと。</p> <p>3. 近隣への振動・騒音、粉じん防止のため、仮設道路及び施工ヤード等を通行する車両の制限速度は「20km/h以下」とする。 なお、元請は資材搬入業者、下請け業者等にも指導を徹底すること。</p>
作業土工	床掘り	1. 床掘り土質は、砂質土で見込んでいる。
	埋戻し	1. 本工事の埋戻し土は、発生土を流用するものとする。また、A2橋台の埋戻しは水砕スラグを見込んでいる。
道路土工	掘削工	<p>1. 掘削土質は、砂質土で見込んでいる。</p> <p>2. 流用土の仮置については、見込んでいないが、現地の状況により必要が生じた場合は、監督員と協議すること。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項
橋梁下部工	場所打杭	<p>1. 本工事の場所打杭で用いる施工基面は、下記のとおりである。</p> <p>P10 EL=1.81 A2 EL=2.02 C2 A1橋台 EL=2.15 A2橋台 EL=2.15</p> <p>2. 杭基礎の施工は全回転型オールケーシング工法を見込んでいる。尚、現地の状況及び土質条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議すること。</p> <p>3. 鉄筋かごの組立にあたっては、無溶接で組み立てるものとし、主鉄筋と組立補強筋（形状補強筋）固定部及び主鉄筋とスペーサー固定部については、無溶接金具を使用し、その他箇所については、なまし鉄線を使用し組み立てることを見込んでいるが、これにより難しい場合は監督員と協議すること。</p> <p>4. 鉄筋かご組立に使用する無溶接金具については、下記事項を確認している製品を用いることとし、事前に監督員と協議すること。</p> <p>①鉄筋かごの運搬及び吊込み時に鉄筋かごがねじれ変形をおこさないこと。 ②無溶接金具部分においてコンクリートの充填不足をおこさないこと。</p> <p>5. 杭施工前に橋脚直下の支持層（Gr）を確認してから施工すること。 （杭1本目を試験杭として考え、支持層を確認）</p>
	防錆処理	鉄筋を露出した状態で工事を完了する場合には、防錆、防食、損傷等を受けないようにこれらを保護すること。なお、施工方法に関しては監督員の承諾を受けること。
	梁部の水切り	橋梁梁部について、コンクリートの劣化を助長するのを防止するため、橋脚の梁下部に水切り溝を設置すること。なお、水切り溝においても鉄筋のかぶりを確実に確保できるように留意すること。

工 種	種 別	説 明 事 項
仮設工	交通誘導警備員等	1. 交通誘導警備員を下記の通り見込んでいる。 交通誘導警備員B（昼間交替要員無し） 400人 なお、配置場所等については、監督員と協議すること。
	足場等設備工	1. 足場材として、以下のとおり見込んでいる。 1) 手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 2. 現地の状況により足場等設備工以外の仮設の必要性が生じる場合は、監督員と協議すること。
	その他	現地の状況により他の仮設の必要性が生じた場合は、監督員と協議すること。

工 種	種 別	説 明 事 項																														
	鋼矢板・切梁・腹起	<p>1. 仮設図は、標準条件のものであるから仮設の施工に当たっては関係法令要綱、指針及び現地条件を勘案のうえ、一般交通・沿道物件並びに工事の安全を十分考慮して施工しなければならない。尚、電動式杭圧入引抜機による打込・引抜を見込んでいるが、現地の状況によりこれにより難しい場合は監督員と協議するものとする。</p> <p>又、埋設鋼矢板の位置については、監督員と協議するものとする。</p> <p>土留工として下記のとおり見込んでいる。</p> <table><tr><th>形 式</th><th>長さ(m)</th><th>打込(枚)</th><th>引抜(枚)</th><th>切断(箇所)</th><th>残置(枚)</th></tr><tr><td>仮設鋼矢板Ⅲ型</td><td>L=10.5m</td><td>162</td><td>93</td><td>69</td><td>69</td></tr></table> <p>施工基面は、EL=1.90で見込んでいる。</p> <p>切断位置は、EL=1.30とし撤去質量 4.6t（スクラップ）・埋設質量を38.9t見込んでいる。</p> <p>2. 土留め工については、別紙「土留工詳細図」のとおり見込んでおり、矢板の打込み引抜きは、電動圧入引抜機（油圧式圧入引抜機）で見込んでいるが、現地の状況によりこれにより変更する場合がある。</p> <p>尚、土留め工を下記のとおり見込んでいる。</p> <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>数量</th><th>備考</th></tr><tr><td>鋼製山留材</td><td>H-300～400</td><td>18.5t</td><td></td></tr></table> <p>3. 土留工として下記のとおり見込んでいる。</p> <table><tr><th>型式</th><th>質量（t）</th></tr><tr><td>鋼矢板Ⅲ型</td><td>102.1</td></tr><tr><td>主部材</td><td>18.5</td></tr><tr><td>副部材A</td><td>主部材×0.22</td></tr><tr><td>副部材</td><td>主部材×0.04</td></tr></table>	形 式	長さ(m)	打込(枚)	引抜(枚)	切断(箇所)	残置(枚)	仮設鋼矢板Ⅲ型	L=10.5m	162	93	69	69	名称	規格	数量	備考	鋼製山留材	H-300～400	18.5t		型式	質量（t）	鋼矢板Ⅲ型	102.1	主部材	18.5	副部材A	主部材×0.22	副部材	主部材×0.04
形 式	長さ(m)	打込(枚)	引抜(枚)	切断(箇所)	残置(枚)																											
仮設鋼矢板Ⅲ型	L=10.5m	162	93	69	69																											
名称	規格	数量	備考																													
鋼製山留材	H-300～400	18.5t																														
型式	質量（t）																															
鋼矢板Ⅲ型	102.1																															
主部材	18.5																															
副部材A	主部材×0.22																															
副部材	主部材×0.04																															
	埋設型枠	フーチング部の外型枠は、撤去しない埋設型枠を見込んでいる。																														

工 種	種 別	説 明 事 項
共通仮設費	技術管理費	<p>1. 受注者は当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査、諸経費動向調査、施工合理化調査及び施工形態動向調査の対象工事となった場合には、調査等の必要な協力を行うこと。 工期経過後においても同様とする。経過後においても同様とする。</p> <p>2. 本工事は微破壊・非破壊試験によるコンクリートの強度測定を用いた品質管理の対象工事である。</p> <p>3. 本工事は非破壊試験による配筋状態及びかぶり測定を用いた品質管理の対象工事である。</p>
	安全費	<p>架空線及び架空電線の防護措置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 架空線及び架空電線の防護措置に係る費用は計上していないが、契約後、発注者、受注者及びN T T又は中国電力の協議により必要となった場合は、設計変更の対象とする。 ・ 防護措置に係る協議等について、N T T又は中国電力への依頼は受注者が行うこととする。また、協議は、受注者の施工計画書作成段階において行うこととする。

工 種	種 別	説 明 事 項
その他	河川協議	<p>河川協議については、現在協議中であり許可後着工できる見込みである。なお、本工事では出水期中の河川内作業は制限される。</p>
	支障物件	<p>施工に関して、河川管理者へ工事着手や完了などの届出が必要となるため、監督員の指示に従い資料を作成すること。また、河川管理者より指示されたことについては対応すること。</p> <p>支障物件の撤去・移設については、関係機関には通知済みであるが施工時期等、監督員と協議すること。</p> <p>場所打ち杭において、撤去した建物の基礎杭が支障となる場合は、あらかじめ試掘し位置等を確認のうえ施工方法を監督員と協議すること。</p>